

日弁連会員 各位

ともに日弁連を変えよう！市民のための司法をつくる会
(変えよう！会)

代表 及川 智志 (千葉県弁護士会)

連絡先：国府泰道 (大阪弁護士会)

TEL 06-6311-9182 FAX 06-6311-9280

荒会長の本音がわかる、「法曹人口検証本部」の人選に注目を！

日弁連は、2012年3月の「法曹人口政策に関する提言」及び2016年3月の臨時総会決議に基づき、司法試験合格者数をまず1500人にまで減員し、更なる減員については法曹養成制度の成熟度や現実の法的需要等を検証しつつ対処していくとしています。この点、荒会長は、会長選挙において「各単位会から推薦される委員を含めた組織において会内の広範な意見が反映されるよう上記の検証作業を行います」と公約（公開質問状に回答）しました。荒執行部は、7月理事会において、上記の検証作業を行うため「法曹人口検証本部」を設置すること表明しました。いま、同本部の委員の人選が注目されています（8月20、21日の理事会で発表されるものと思われます）。

この問題に積極的に取り組んできた単位会は、日弁連に対し、単位会の意向を尊重して同本部の委員を選任するように要請しています（長野会と千葉会は、日弁連に対し、意見書を提出するとともに、特定の会員を委員に選任するように求めています。）。

7月理事会において、担当副会長は、「法曹人口について積極的に意見をいただいている会からは必ず（同本部の委員に）入っていただく」と説明する一方で、推薦依頼はせず、いわゆる「一本釣り」で同本部の委員を選任するとの説明を行いました。荒会長が会長選挙での上記公約を守るのか否か予断を許さない状況です。

荒会長は、会長選挙において、仙台という地方会選出の日弁連会長として、地方単位会の意見を大事にすることを約束されました。「法曹人口検証本部」の人選は、荒会長が公約どおりに地方単位会の意見を大事にする会長なのか否かの試金石です。注目しましょう。

荒会長の本音がわかる、総会7号議案への対応に注目を！

日弁連総会7号議案（会員提案の議案）は、「最高裁に対し、新65期以降の司法修習生に貸与した修習資金の返還請求を停止するよう求める」ものです。日弁連執行部は、ホームページで「2018年定期総会決議と相容れないものであり、また、貸与金の返還請求停止は最高裁判所の権限で実現できるものではないため、執行部は第7号議案に反対します。」との見解を表明しています。

しかし、定期総会で執行部が対案も出さず単に7号議案に反対する姿勢だけで終わるなら、対外的にも「谷間世代」問題に日弁連は消極的であるとのメッセージになり、マスコミ報道もなされ、国に対して一律給付を求める活動の阻害要因になります。荒会長は、「国に不公正是正のための一律給付を求める」という会長選挙における公約並びに「一律給付の政策を求める活動を実施する」という2020年度会務執行方針を守るため、総会当日、「日弁連は、国に対し、国費による是正措置として一律給付を求める」との会長声明を発出し、マスコミに公表するべきです。注目しましょう。

【カンパ先口座】三井住友銀行伊丹支店 普通預金「5055933」 「変えよう会 会計 武本夕香子」

「変えよう！会」のメーリングリストにぜひご登録ください！ お名前・所属単位会・登録期をご明記の上、件名「変えよう！会ML」で「tsai676@nifty.com」にメールをいただければ幸いです。

変えよう！会ホームページは<http://www.change-nichibenren.com/>です。



チェンジ日弁連

